

記入例



わたしの
サポート
ファイル



の記録

命を守る「基本情報」のシートについて

基本情報のシートは、本人の個人情報だけでなく、ケガや事故などの緊急時に、支援を必要とする人の命を守るために必要な情報を記入するシートです。災害時には多数の被災者や負傷者が出ると想定されます。外見からは分からない病気や障がいのある人は、本人が助けを求めることができなければ支援が受けられない場合もあるかもしれません。また、被災時に必ずしも家族や支援者が一緒にいるとも限りません。災害時の最悪の場合を想定し、本人が苦しくつらい状況にならないように、支援者や一般の人がこのシートを見て本人を守り、助け、支援する方法が分かるように記入しましょう。災害時には、本人にとって必要な支援や医療情報が一目見て分かる方が早い支援につながります。

■このシートで分かること

- ・ 本人の名前（愛称）、年齢、生年月日、性別、血液型、住所、連絡先など
- ・ 災害時に本人や家族が避難する場所、または避難していると想定される場
- ・ 家族構成、家族の名前や年齢、一緒に住んでいる家族は誰か、緊急連絡先とその順位
- ・ 家族に連絡がつかない場合や家族以外にも連絡がつく緊急連絡先
- ・ 障がいの診断名や持病、命を守るための医療情報（常備薬やアレルギーなど）
- ・ 本人の特性、できることやできないこと

基本情報のシートに書ききれない必要な情報は、「新しいシートに記載」するなど、このシートを見た人が分かるように赤で記入するなど工夫しましょう。

医療機関に初めて受診する際にも、基本情報のシートを持参しましょう。

災害時には、「わたしのサポートファイル」を持って非難が出来るよう、普段から家族全員が「わたしのサポートファイル」をどこに置くか、決めておきましょう。

基本情報

記入例

記入日 (年 月 日)

ふりがな いくせい たろう 氏名 育成 太郎	性別 男 ・女	平熱 愛称	度	生年月日 年 月 日	血液型 A・B・O・AB (Rh +・-)
所属先					
(〒) 住所				電話番号	
指定緊急避難場所 (避難地)			指定避難所 (避難所)		

指定避難地や避難場所が分からない場合は、自治会や市町に問い合わせて記入します

家族構成

連絡順位	家族氏名	続柄	同居別居	生年月日	電話番号	備考 (別居の場合の住所など)
	育成 清子	母	同居			家族構成や同居の家族が誰なのか分かるよう同居か別居が記載します。
	育成 葦彦	父	同居			
	育成 次郎	弟	別居			
	育成 花子	妹	同居			

緊急時の連絡先が分かるよう、連絡する順番を記入します。

上記以外の緊急連絡先

	氏名	続柄	連絡先	備考
1	琵琶 益男	叔父		緊急時の連絡先として、いつもいる所 (日中の通所施設や入所施設)、別に住んでいる祖父母宅、市内の親せきなど、緊急時に連絡できる所を記入します。
2	大津 もみじ	伯母		

「精神発達遅滞 (知的障害の正式名称)」「てんかん」「高機能自閉症」「ダウン症」など、手帳を持っている場合、その原因になっているものがあれば記入します。

持病 (基礎疾患)・体質等

持病 (慢性的な病気)	なし・あり (病名)	「気管支喘息」「糖尿病」「頭痛」など慢性的、長時間継続的に続く病気や症状があれば記入します。
常用薬 (いつも飲んでいる薬)	なし・あり (薬名)	
禁忌薬 (飲んではいけない薬)	なし・あり (薬名)	
てんかん	なし・あり (タイプ)	どのタイプのてんかんか、医師から聞いて記入します。
アレルギー (現在、管理・制限が必要なもの)	食物アレルギー	なし・あり (原因:)
	薬アレルギー	なし・あり (原因:)
	その他	ハウスダスト・動物・寒冷
	アナフィラキシーの既往	なし・あり (原因:)

医療機関で治療する時に必要な情報です。かかりつけの医師、薬剤師に確認して記入しましょう。持病のある人、ある種の薬を飲んでいる人に使用できない薬がある場合があります。

薬 (注射、内服、湿布等) で皮膚や粘膜に症状が出たことがあればそれを書きます。

持っている手帳など

療育手帳	なし・あり (A1 ・ A2 ・ B1 ・)
身体障害者手帳	なし・あり (種 級 障害名)
精神障害者保健福祉手帳	なし・あり (級)

本人の状態 (誰でも支援できるように記入してください。複数〇可)

コミュニケーション	会話できる・会話できない・単語・絵カードや写真・手話・サインやジェスチャー その他 ()
指示の理解	おおむね理解できる・理解できることもある ()・理解できない
情緒の安定	常に安定・場合により不安定になる ()・常に不安定・自傷・他害
危険の回避	できる・できない (車・人・火・水・物 ())
マヒの有無	なし・あり (部位)
医療的ケアの有無	なし・あり (内容)
移動	ひとりで歩行できる・見守りや声かけが必要・介助が必要・車椅子や補装具を使用
食事	自立・見守りや声かけが必要・介助が必要・偏食が激しい・過食・少食
排泄	自立・見守りや声かけが必要・介助が必要・薬が必要

医療情報 (1)

健康保険証・乳児医療受給者証・介護保険証等

記入例

記入日(年 月 日)

健康保険証	国保・健保(協会・組合)・共済・その他		
	記号・番号		
自立支援医療受給者証(育成・更生・精神通院医療)	なし・あり	受給者番号	
		有効期間	年 月 日 ~ 年 月 日
小児慢性特定疾患医療受給者証	なし・あり	公費負担者番号	
		受給者番号	
特定医療費(指定難病)医療費受給者証	なし・あり	有効期間	年 月 日 ~ 年 月 日
		公費負担者番号	
介護保険被保険者証	なし・あり	受給者番号	
		有効期間	年 月 日 ~ 年 月 日
福祉医療費受給券(重度心身障害児者福祉医療、乳幼児福祉医療等)	なし・あり	被保険者番号	
		要介護状態区分等	要支援 ・ 要介護 ()
精神障害者(児)・老人精神科通院医療費助成受給者証	なし・あり	認定の有効期限	年 月 日 ~ 年 月 日
		福祉番号	
		受給者番号	
		有効期間	年 月 日 ~ 年 月 日
		福祉番号	
		受給者番号	
		有効期間	年 月 日 ~ 年 月 日

かかりつけの医療機関

診療科	医療機関名	主治医
	電話番号	診察券 No
小児科	〇〇小児科 (077) 123-4567	〇〇 〇男先生 No.012345
耳鼻科	△△耳鼻咽喉科 (077) 789-4321	△△ 耳子先生 No.6789

訪問看護

事業所名 電話番号	看護内容	担当者

「初回の診察では、緊張する」「聴診器に興味を示す」などを記入します。

「丸いものを見ると、他人の持っている物でも手に取りたくなる」「独り言が多い」などを記入します。

受診の際に気をつけてほしいこと

病院内での主な様子	本人への治療方法の伝え方	その他注意してほしいこと
待合室	<p style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px;">ことばかけや声のかけ方で本人に伝わりやすい方法があれば記入します。「治療の流れを絵や写真、または実演で見せながら説明してもらうと不安がやわらぎます」「カードなどいつも使っている物を見せると理解します」などと記入します。</p>	<p style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px;">大声で行動を止めようとするとその瞬間は止まっても離れると繰り返す。低めの落ち着いた声で話しかけてほしい」「強く押さえつけると、かえって不安になり、泣いたり暴れたりします。できるだけ無理強いをせず、本人の表情を見ながら治療を進めてください」などと記入します。</p>
診察室		
注射		
<p style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px;">「押さえられるのが嫌いで、暴れる」「注射は好きなので、すぐに手を差し出す」などを記入します</p>		
印刷をしやすい	かぶれやすい	
便秘しやすい	関節がぬげや (部位: 肘 肩 その他) 右・左	
よく吐く	その他 ()	
	その他 ()	

医療情報 (2)

今までにかかった病気

記入例

記入日 (年 月 日)

病名	予防接種	かかった時期	病状・合併症など
麻疹 (はしか)	済・未	年 月 日 歳頃	<p>かかった場合の状況を記入します。 「熱が出て耳の下が腫れて、痛みがあった」 「発熱、咳、目の充血」 「肺炎を合併して入院した」 「ぶつぶつが出て病院に行った。かさぶたになってから登園した」などと記入します。</p>
風しん (三日はしか)	済・未	年 月 日 歳頃	
水痘 (水ぼうそう)	済・未	年 月 日 歳頃	
おたふくかぜ	済・未	年 月 日 歳頃	
結核 (けっかく)	BCG 済・未	年 月 日 歳頃	
	済・未	年 月 日 歳頃	
		日 歳頃	
		日 歳頃	
		日 歳頃	

予防接種はすんでいれば「済」に、すんでいなければ「未」に○印をつけます。母子健康手帳を見ながら記入しましょう。

※ 予防接種は母子健康手帳を参照

その他今までにかかった大きな病気、けがなど

病名	かかった時期	病状・医療機関など
<p>「川崎病」「肺炎入院」「階段からの転落で骨折入院」など、入院治療や継続治療が必要な病気やケガなどを記入します。</p>	年 月 日 歳頃	
	年 月 日 歳頃	
	年 月 日 歳頃	

特に気を付けてもらいたい病状 (ひきつけ、心臓病、ぜんそく、てんかん、アレルギーなど)

病名	症状	対応
<p>「ひきつけ」や「気管支ぜんそく」などの病名を記入します。</p>	<p>「発作時は吐いたり激しく泣く」などと記入</p> <p>医療機関名</p> <p>病状を記入します。 「手足がガクガク、白目になる。息が止まる。熱が出ているとき、なりやすい」「咳、息切れ、呼吸できない」などを記入します。</p>	<p>「ゆっくり腹式呼吸。周囲が不安がらない。」など</p> <p>対応を記入します。 「吐くかも。顔を横向きにして服をゆるめる。時間を見ておく。病院に相談する。」「症状が落ち着かなければ病院に連絡する」などを記入します。</p>

常用薬

薬名 処方期間	何の薬 (処方目的・副作用等)	服薬時間	量・形状
年 月 ~ 年 月		毎朝・昼・夕 食前・食間・食後・就寝前 その他 ()	包錠
年 月 ~ 年 月		毎朝・昼・夕 食前・食間・食後・就寝前 その他 ()	包錠
年 月 ~ 年 月		毎朝・昼・夕 食前・食間・食後・就寝前 その他 ()	包錠
年 月 ~ 年 月		毎朝・昼・夕 食前・食間・食後・就寝前 その他 ()	包錠
年 月 ~ 年 月		毎朝・昼・夕 食前・食間・食後・就寝前 その他 ()	包錠

日頃服薬している薬があれば、記入します。「抗けいれん薬」などを記入します。

「ひきつけ予防の薬」などを記入します。病院のスタッフやかかりつけ薬局に手伝わってもらったり、お薬手帳などを見ながら記入します。

氏名	年齢	歳	勤務先 (通所先)
健康 ・ 体調	疲れやすい ・ かぜをひきやすい ・ 運動制限あり ・ アトピー ・ 寒がり ・ 暑がり 水分補給が必要 ・ 汗が出にくい ・ 高い熱が出やすい ・ トイレが近い その他 (視力、聴力など) てんかん：なし あり ()、発作が起きた時の対応 () アレルギー：なし あり (薬アレルギー)、対応 ()		
薬	種類：	種類	時間：
食事	準備	いつもする ・ 時々する ・ 手伝い程度 ・ しない	
	食形態	普通食 ・ 一口大 ・ きざみ食 ・ ペースト食 ・ その他 ()	
	介助の必要	自分で食べる ・ 少し手伝ってほしい ・ 食べさせてほしい	
	好きな食べ物 (食材、メニューなど)	好んで食べる食材名や料理名、またはこだわりの食べ物を記入します	
	嫌いな食べ物 (食材、メニューなど)	味や硬さなどの食感、見た目などわかれば記入します	
	食べてはいけない物	体質など医療的な面から止められている物を記入します	
	外食時に選びやすいメニューなど		
	注意してほしいこと	飲み込みや温度、これまでに危険だったことなど特記すべきことを記入します	
嗜好品	酒類	種類 () 頻度 () 量 () 注意点：	
	たばこ	種類 () 頻度 () 量 () 注意点：	
	コーヒー・紅茶・その他	種類 () 頻度 () 量 () 注意点：	
着脱衣	服の選択	ひとりのできる ・ 少し手伝ってほしい ・ 手伝ってほしい	
	服の着脱	ひとりのできる ・ 少し手伝ってほしい ・ 手伝ってほしい	
	注意してほしいこと	着脱で気を付けていること、帽子や靴下を嫌うなど、癖があれば記入します	
排泄	排尿	便器	洋式 ・ 和式 ・ どちらでも ・ おむつ
		排尿	ひとりのできる ・ 少し手伝ってほしい ・ 手伝ってほしい
		予告	自分で予告する ・ 誘ってほしい
		支援方法	時間で誘う、そばに付き添う など
	排便	便器	洋式 ・ 和式 ・ どちらでも ・ おむつ
		排便	ひとりのできる ・ 少し手伝ってほしい ・ 手伝ってほしい
		予告	自分で予告する ・ 誘ってほしい
		排便のリズム	毎日 ・ () 日おき ・ 不定期 ・ その他 ()
支援方法	拭き取りの仕上げ、ウォシュレット使用 など		
睡眠	起床時間： 時頃	寝るときの癖など (寝るときの体位、安心する持ち物、寝付きやすい方法など)	
	就寝時間： 時頃	注意してほしいこと (安心する光加減、掛蒲団の柄や重さなど好みがあるかなど)	
身だしなみ	入浴	ひとりに入れる ・ 見守りが必要 ・ 少し手伝ってほしい ・ 全部手伝ってほしい 支援方法：	
	洗面・歯磨き	ひとりのできる ・ 見守りが必要 ・ 少し手伝ってほしい ・ 全部手伝ってほしい 支援方法：	
	爪切り	ひとりのできる ・ 見守りが必要 ・ 少し手伝ってほしい ・ 全部手伝ってほしい 支援方法：	
	生理の手当	ひとりのできる ・ 見守りが必要 ・ 少し手伝ってほしい ・ 全部手伝ってほしい 支援方法：	
	ひげそり・化粧等	ひとりのできる ・ 見守りが必要 ・ 少し手伝ってほしい ・ 全部手伝ってほしい 支援方法：	
余暇	休日の過ごし方	休日をどのように過ごしているか具体的に。必要な手助けや見守り方法があれば記入します	
	好きなこと	好きな遊びがあれば具体的に記入します。特定の場所やイベント参加なども	
	嫌いなこと		
移動	移動の様子	初めての場所に行くときや道路を歩くときなどの様子を記入します	
	交通機関の利用	利用する時の注意点、利用の仕方の理解度も記入します	
	通所・通勤・通勤	普段の手助けや見守り方法などを記入します	
	注意してほしいこと	危険の認知や体の機能的なこと、外出だけでなく室内での様子も記入します	

人との関わり・社会性	集団での様子 (人の多さ、騒がしさを嫌がっているか)	・職場、通所施設の人数： 人 ・苦手とする人（女性、男性、白衣を着た人など）： ・支援者の人数、やり取りの仕方などの配慮方法： ・家族、友人、他人との対人関係について：	
	社会性	社会のルールに関する理解度	理解できる ・ 多少理解できる ・ 理解できない
コミュニケーション	理解の仕方	理解の程度	理解できる ・ 多少理解できる ・ 理解できない
		支援方法	単語・筆記・写真・絵カード・ジェスチャー・文字・具体物 その他 ()
	表現の仕方	表現の様子	話せる(日常会話が成り立つ) ・ 多少話せる ・ オウム返し 単語のみ ・ 発語はない
		意思を伝える方法	単語・筆記・写真・絵カード・ジェスチャー・文字・具体物 その他 ()
支援方法	表現しやすくなるための手助けが必要か、気を付けることは何かなどを具体的に記入します		
感覚	具体的な様子	音	バイク、掃除機、ドライヤー、赤ちゃんの泣き声など、苦手と感じている音を記入します
		感触	苦手な感触、好きな感触、過剰に反応する感触などがあれば記入します
		におい	苦手なにおい、好きなにおい、その時の様子も記入します
		触られること	触られても大丈夫かどうか。好きな触られ方、嫌いな触られ方を記入します。 また、体のどの部分が好きなのか、嫌いなのかといったことを具体的に記入します
		その他	日頃から気を付けていること、嫌がる場合の対処法があれば記入します
こだわり	具体的な様子	物を並べる、順番にこだわる、時間どおりでない気がすまない、手をひらひらさせる、ピョンピョン跳ぶ、同じことを言う など	
	対処法(配慮)	指示を書いて示す、他の行動に誘う などの対処法を記入します	
	安全上の注意	草・木を食べる、道路に飛び出す など特に配慮してほしいことを記入します	
パニック	前兆		
	きっかけ	(1) 時間帯	
		(2) 場所	
		(3) 人、物について	
		(4) 場面について	ア 難しい課題の提示があったとき イ 大好きな行動が中断されたとき ウ 予告なしの日課やスケジュールの変更があったとき エ 欲しかったものが手に入らなかったとき オ しばらくの間注目されない、ひとりにされたとき カ その他、騒音、光などのきっかけについて
	どんな状態になるか	大声を出す、暴れる、動かなくなる、極度にボーとしている など	
	どのくらい続くか		
	対処方法	その時、支援者にしてほしいことや安全上、特に配慮してほしいことを記入します	
	してはいけないこと	その時に、してはいけないことを記入します	
	落ち着ける場所等		
回復期の状況等			

(太郎) の歩み

記入例

記入日(年 月 日)

西暦・和暦	本人年齢	父年齢	母年齢	学校・事業所・会社・施設など	できごと・メッセージなど
2002 ----- H14	0	28	25		育成家の長男として太郎誕生
2004 ----- H16	2	30	27		ことばの遅れが気になり始めた 次男二郎誕生
2006 ----- H18	4	32	29	〇〇保育園	入園。ことばの教室にも通い始める 長女花子誕生
				△△病院	発達遅滞・自閉傾向と診断された 主治医は◎◎医師
2008 ----- H20	6	34	31	〇〇小学校	入学。特別支援学級に在籍
2010 ----- H22	8	36	33	△△病院	肺炎で2週間入院
2013 ----- H25	11	39	36		自宅を改築。自分の部屋ができた。 自分の部屋で寝るようになった。
					母方祖父(〇〇△△)が死去
2014 ----- H26	12	40	37		柴犬(ゴンタ)を飼い始めた
2015 ----- H27	13	41	38	〇〇養護学校	中学部へ入学 部活動は陸上部
2018 ----- H30	16	44	41	〇〇養護学校	高等部へ入学 部活動は陸上部
2021 ----- R3	19	47	44	〇〇事業所	入所

はたらく人になるために

記入例

～将来就労するときのた

記入

年齢に合わせて記入しましよ

本人を評価するためのシートではなく、本人が持っている力を伸ばすために、どのような支援が必要かを確認するシートです。
「×できない」ではなく、できるだけ○△になるように、年齢に合わせて記入します。
進級・進学などの節目に見直すことを心がけてください。

	チェック項目	達成度	現在の状況
生活習慣（日常生活）	食事	○	お箸は使えないが、フォークが使える
	着替え	△	ファスナーを上げる際、端を持つとできる
	排泄	△	和式は使えないが、洋式は使える
	生活リズム	△	声掛けをすると起床・就寝時間が守れる
	身だしなみ	△	下着が出ている等の声掛けで直すことができる
	洗濯（洗濯・たたむ）	△	一定量の洗剤が容器に入っているとできる
	掃除（掃除・整理整頓）	△	掃除機は使えないが、ほうきは使える
	食事の支度（用意・片付け）	△	洗うことはできないが、片付け拭くことはできる
	テレビなどの電化製品を使う	△	リモコン操作はできるが、電池交換ができない
	お店で目的に応じた品物を選ぶ	△	時間はかかるが選ぶことはできる
	金銭管理（お金を使い買い物）	△	1万円くらいはできるが、1万円以上の管理は難しい
	服薬管理	△	1日分の管理はできるが、長期管理はできない
	外来通院	△	方法を3回教えると通院できる。歯科は練習中
	公共交通機関、自転車等の利用	△	ICカードは使えないが、定期は使える。自転車OK
	交通ルール	△	信号を見て渡れるが、ボタンは押せない
	余暇活動・趣味	○	カード集め、カラオケが好き
火や刃物など危険物を認知する	△	ガスコンロは安全に使える。刃物は×	
コミュニケーション	あいさつができる	△	自分からあいさつできるが、声が小さい
	住所、氏名、電話番号を伝える	○	
	家族（父母等）の名前を伝える	×	
	電話（携帯）が使える	△	かけることはできないが、受けることはできる
	言葉だけで指示理解ができる	△	短い言葉での指示なら理解できる
	意思表示ができる	△	ハイは言えるが、イエエが言えない
	報告・連絡・相談ができる	△	初めての人には出来ないが、回を重ねるとできる
自分から周囲に関わることができる	△	声掛けすればできる	
知識	時計を見て時間がわかる	△	アナログは分からないが、デジタルなら分かる
	カレンダーの月日や曜日がわかる	△	日曜・祝日（休み）は、赤字だと分かりやすい
	数がわかる	△	10までは理解できる
	足し算・引き算	△	電卓を使えばできる
	読み書き	△	小学校低学年程度の漢字は読めるが書けない
作業能力	基礎体力	○	毎朝ラジオ体操をしている
	作業意欲	△	ほめられるとやる気が出る
	持続力（1時間以上）	△	タイムタイマーの使用で1時間続けられる
	持ち上げたり運んだり（10kg・15kg）	△	机くらいの高さまでなら持ち上げられる
	仕事の変化への適応力	△	直前ではなく、朝伝えることで対応できる

親の思いを記す「親心」のシートについて

成年後見人等をまだ選任していない親（保護者）が、ある日突然に亡くなる時、認知症・入院などで役割をはたせなくなったとき、後を託す親族や成年後見人（候補者）等に対し、“この子なりの幸せな人生を全うさせたい”という親の思い（意志）が、まっすぐに伝わるよう、必要最小限のことを記録しておきましょう。

記録することで、親の考え方を客観的に整理することができ、将来、成年後見人等の選任申立をするときの、重要な参考資料となります。

また、既に親が成年後見人等になっている場合も、残された遺族や後継の成年後見人等が戸惑うことのないよう、引き継ぎ書として役立ちます。

子（障がいのある本人）は、成年後見人等が法律行為を事務的に代理するだけでは、幸せな人生の確保は難しいです。子（障がいのある本人）の特性などを理解し、親身になった支援を受けられるよう、親族、支援者、利用施設の職員、成年後見人等のチームプレーが必要です。そして、その連携の輪に“親の思い（意志）が筋として通っている”ことが大切です。

「親心」の記録は、親の愛情と責任で子（障がいのある本人）に残す無形財産となり、しかも、親が元気なうちしか出来ない事です。

■ 記入の仕方について

- ① わかること、優先すべきことから記入します。
- ② 1年がかりで完成させることを目標に取り掛かります。
- ③ 特に必要と考えられる項目について、書き留めておくだけでも良いです。
- ④ 2年ごとぐらいに見直して、加除訂正を繰り返すことが必要です。
- ⑤ 完成したら、他の重要書類とともに、大切に保管しておきましょう。

記入日(年 月 日)

成年後見人等の選任 成年後見人等をお願いしたい人

(親が成年後見人等になっている場合、将来その役割がはたせなくなったとき、次をお願いしたい人)

子

氏名	住所	電話番号	本人との関係
承諾	・了承を受けている ・話はしてある ・まだ話をしていない		
氏名	住所	電話番号	本人との関係
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>子(障がいのある本人)の後見人について記入します。 後見人の締結がまだの場合、お願いしたい人を記入します。 その方にまだ話をしていなくても、親がお願いしたいと考えている人がいたら 記入し、変更があったら書き換えます。 親が本人の後見人になっている場合でも、将来その役割をはたせなくなった とき、次をお願いしたいと考えている人を記入します。</p> </div>		
承諾			
氏名			本人との関係
承諾	・了承を受けている ・話はしてある ・まだ話をしていない		

親

記入例

親(保護者)の後見契約について		
後見契約	・締結している(している場合は下記に記入) ・していない	
氏名	住所	電話
関係	公正証書契約番号	関係書類保管場所
考え方	清子(私)が病気や認知症になったとき、次郎(次男)に後見人になってほしい。	

記入例

本人や家族の年齢、親族との関係を考慮して、『誰に』『何を』頼みたいのか、考えられる範囲で記入します。

年 月 日)

親族に対するお願い（誰に、何を ※具体的に）

琵琶益男さん（叔父）に太郎（長男）の後見の申立てをしてもらいたい。
できる限りでいいので、お盆や正月には、次郎（次男）や花子（長女）の家族と交流を続けてほしい。
本人がつらい時や悲しい時は、大好きな大津もみじさん（伯母）に話を聞いてもらいたい。
次郎（次男）や花子（長女）が困った時には、琵琶益男さん（叔父）に相談してほしい。

利用施設・事業所へのお願い

できる限り今の作業所で現在の仕事を続けさせてもらいたい、作業能力や仕事量をステップアップ
できるよう支援を続けてほしい。
通所のバスの時刻が変わった時は、慣れるまで見守り、安全に自力通所できるよう見守ってほしい。

行政・相談機関へのお願い（福祉サービスの利用、医療、暮らしの場の確保などを含めて）

現在受けている福祉サービスは継続し、新たに居宅介護（ヘルパー）の訪問を希望。
グループホームに入るまでの期間または入れなかった場合、一人暮らしになるので、地域の民生委員児童委員の
〇〇さんに定期的に訪問してもらいたい。本人が受けるサービスについては、本人にもわかるよう説明してほしい。
〇〇歯科に、半年に1度の定期受診の継続を希望。

入院など緊急時の対応（付添人の確保や費用負担などを含めて）

入院や手術の保証人が必要な場合は、次郎（次男）または琵琶益男さん（叔父）に頼みたい。
付添人が必要な場合は、自己負担でもできるだけ付き添いをつけてほしい。

親がなくなった後、居住系の福祉サービス利用について

本人の希望	・利用したい ・利用したくない	わかる範囲で、子の希望を聞き取り記入します。
具体的に	・グループホーム ・入所施設 ・その他（ ）	
親（保護者）の希望	・利用させたい ・利用	具体的に希望する施設があれば、欄外に記入します。
具体的に	・グループホーム ・入所施設 ・その他（ ）	

子の所有財産の保全と有効活用（子の幸せのために役立つ使い方、人生最期の迎え方、遺産の取り扱いなど）

本人が相続した財産は、居住、医療などの基本的な使い方以外に、本人の楽しみに使ってほしい。
何らかの事情で財産がなくなった場合、生活保護受給もやむを得ないと考えている。
最期については、残った身内や友人の他お世話になった方々へ連絡し、できるだけ皆さんで看取ってやってほしい。
本人に財産が残る場合は親族で分割。

記入例

記入日(年 月 日)

子の死亡時の葬儀、墓、供養など

①葬儀をするかしないか	・する ・しない ・まだ決めていない
②宗教・宗派について	宗教 浄土真宗 宗派 本願寺派 寺院・教会名 (〇〇寺) 住所 〒 大津市〇〇町△番×号 電話番号 (077) 123-4567
③葬儀社・互助会	・決めていない (社名 あんしん互助会 電話番号 (077) 987-6543) ・決めていない
④お墓について	・ある (墓地名 〇〇霊園 住所 大津市〇〇町〇〇〇〇) ・ない
⑤供養についての希望	太郎の遺骨は、母と同じお墓に入れてほしい。
⑥その他	

子の人生について願うこと (子どもの将来について、本人にどのような人生を歩んでほしいのか等を記入)

病気をせず、元気で、仲間たちと仲良く、ずっと楽しく暮らせますように。
仕事帰りに缶コーヒーを買うのが楽しみ。毎日、コーヒーが飲めるように仕事を頑張ってほしい。
大好きなAKBのコンサートに行けるよう、ファンクラブにも入り貯金もしている。いつか行けるといいね。
年に一度の家族との旅行を楽しみにしているので、続けて行きたい。
子どもの将来について、本人にどのような人生を歩んでほしいのかを記入します。 現在の暮らしや普段の生活の中で、本人が好きなこと、楽しみにしていることなど、 親自身も子どもの幸せを感じられ、ずっと続いてほしいと親が願うことを記入します。

記入日(年 月 日)

親の死亡時の葬儀、墓、供養など

①葬儀をするかしないか	・する ・しない ・まだ決めていない
②宗教・宗派について	宗教 浄土真宗 宗派 本願寺派 寺院・教会名 (〇〇寺) 住所 〒 大津市〇〇町△番×号 電話番号 (077) 123-4567
③葬儀社・互助会	・決めている (社名 あんしん互助会 電話番号 (077) 987-6543) ・決めていない
④お墓について	・ある (墓地名 〇〇霊園 住所 大津市〇〇町〇〇〇〇) ・ない
⑤供養についての希望	お世話になっている〇〇寺で、家族と友人だけで葬儀をしてほしい。 初七日、四十九日、一周忌、三回忌、七回忌まで供養を希望。 墓や祭事の継承は、次郎(次男)に頼みたい。
⑥その他	

記入日(年 月 日)

親の訃報連絡先

氏名	住所	電話番号	関係(縁)	備考

その他重要事項 (子どもへの思いや願い、自分自身の最期について考えていることなど自由に記入)

育成清子(私自身)が認知症や寝たきりになった場合、特養入所を希望。
重病の時は、病名・余命を告知してほしい。延命治療は希望しないが、ホスピスケアを希望。
最期は、家族に看取られたい。太郎(長男)にも立ち会ってもらいたい。
臓器提供意思表示カードは、桐のタンスの引き出しに入っている。心臓死、脳死の場合に、臓器提供を希望。